

〔シリーズ特集〕

明日からすぐ実践できる!

患者の安全・QOLを守る エキスパートの

5つの極意

CAUTI(カテーテル関連尿路感染症)予防編

入院患者のQOLを著しく低下させかねないことの中には、
看護師の介入によって未然に防げるものがあります。
それらに関して、エキスパートが考えている「特に大切な“極意”」を5つに絞って示します。



〔執筆〕 四宮 聡 しのみや・さとし

医療法人協和会 法人感染対策副委員長／感染管理認定看護師

医療法人協和会にて、同法人の急性期病院2施設の感染管理支援を担当。現場での感染対策の実践と人材育成に取り組む。学会活動や執筆のほか、大阪大学・東京医療保健大学などで教育にも携わっている。大学院修士(感染制御学)。

私が考える
「CAUTI予防
“5つの極意”」

CONTENTS

- P.34 一 カテーテルの「不必要な留置」を避ける
- P.35 二 無菌的な挿入技術と「ペア」での実施
- P.37 三 閉鎖式ドレナージシステムの維持と位置管理
- P.38 四 定期的に適応を評価し「早期に抜去」する
- P.39 五 チーム全員で取り組む

